

吊電及
辺電

0114

アジア歴史資料センター

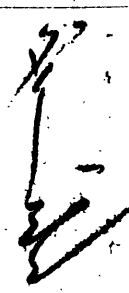
Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

男

報 報 着 信 紙

電

局 着		局 發			受 信 人 居 所 氏 名	
取 扱 者	受 信	付 午 後	付 午 後	第 一 局	官 報	
	後 前	後 前	時 分	日 號	局 報	
	九 時 分					

指 定

事 記

筑波不慮ノ災厄遺憾ニ
堪ヘス御見舞申上ク

一月十四日


佐世保鎮守村長官

番 着 信 號	紙 數	名 氏 所 居 人 信 發
	第 四 號	サハ
印 附 日 信 着		

0115

紙 信 着 報

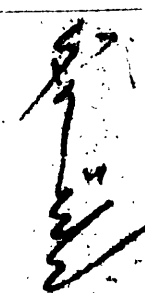
供 電 覧

局 着		局 發			名氏所居人信受	
取扱者	受 信	付 午後	付 午後	第 一	局 報	
	後 時	後 時	日 號	局 報		
申上ク 一月十四日 砲術学校長		筑波不慮、災害ニ對シ部下一 同ヲ代表シ謹ミテ哀悼ノ意ヲ 申上ク			定 指	番着 號信 一
		記 事 (Handwritten notes)			數紙 第 五 號	名氏所居人信受 本 二
					印 附 日 信 着	


0116

報 着 信 紙

供
電
局

局 着		局 發			名氏所居人信受	
取 扱 者	受 信	付 午 後	受 午 前	第	局	
		時 分	時 分	日 號	官 報	

一月十日
 築波不慮、災禍に對し
 御同情、念、堪、工、御見
 舞、申、上、り
 吳鎮長 役

定 指	番 着 信	紙 數	名氏所居人信受
	番 號	第 一 〇 號	
事 記	印 附 日 信 着		

0117

供覧

No. 47

47

大正六	十一月十四	日午後十時	十六分	海軍部	局長
				發信者	舞野鎮長官
				受信者	海軍大臣
				電報譯	
筑波ノ出來事ハ痛恨ニ堪エズ謹シテ御見舞申上ク					

花崎納

0118

2

17
18
19

如
子
檢
査
物
品
受
取
書
所

6. 1. 15

東京府
印

海軍省
印

印

印

並
皮
之
遺
産
目
付

二
地
入
ス
海
軍
省
印
也
ス

五
の
本
字
印

井
上
通
治
殿

此
は
三
重
縣
立
本
字
印
也
印
付
ス

0119

緊急

7

No. 48

支那通信
8月25日

大正五年 一月 廿五日 午前十時十七分

海軍

發信者 台灣總督府海軍參謀長

受信者 省副官

電報譯

波火藥庫爆發沈没ノ事
十時

十五
一月廿五日
午前九時五十分

(花崎)

0120

電報着信紙

六〇〇〇

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信	付午後	付午後	第	第	至	
		時分	時分	日	日		
		字	分	號	局	官報	
電見ルニ筑波不慮ノ件 痛心ヲ堪ヘズ速カニ恢復 祈ル 東郷元帥						定指	急
						番着信	
						事記	ト
						印附日信着	シ

0121

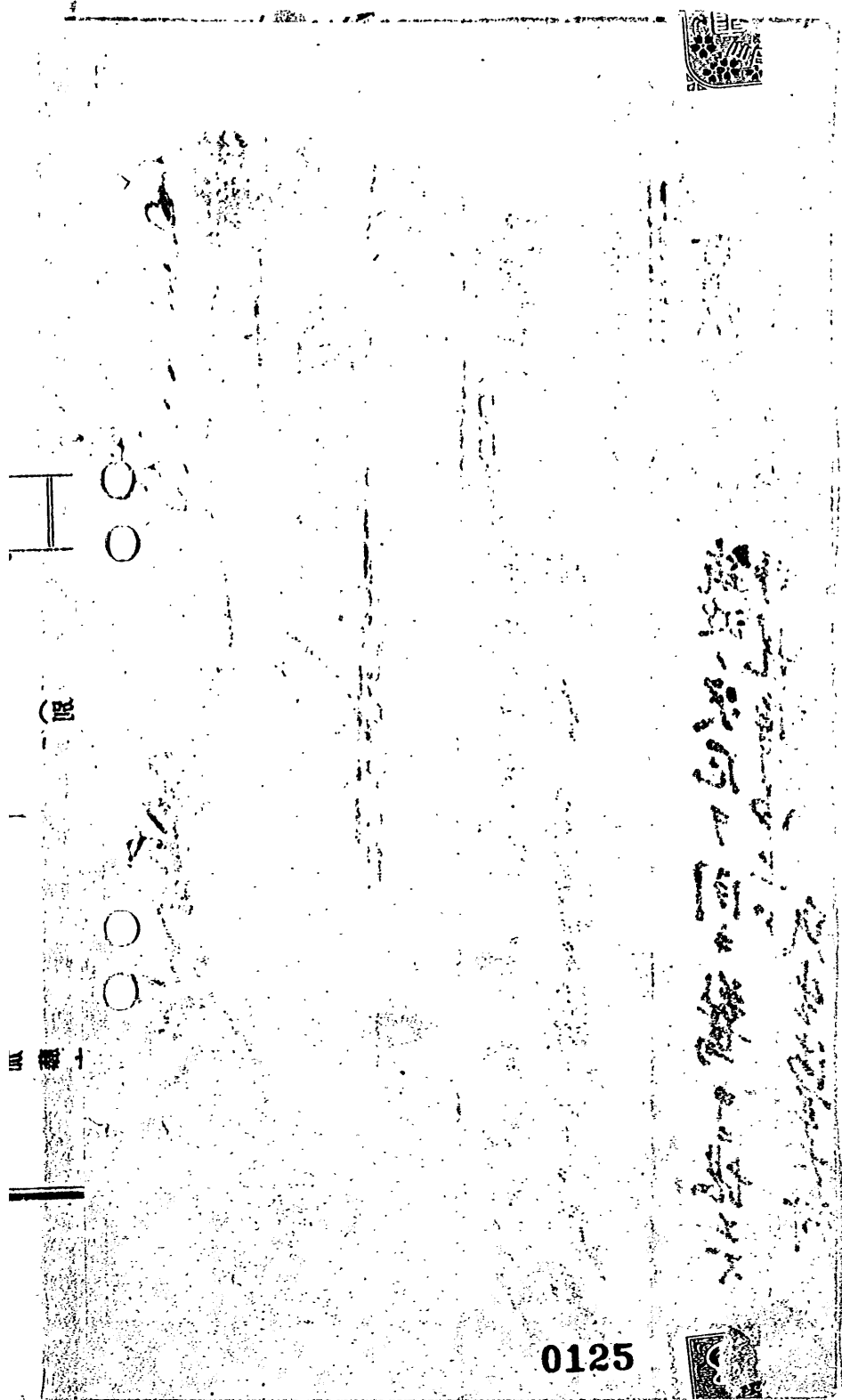
乙

海軍

<p>一月十五日 カミル公使館</p>	<p>本野の事務官宛 シエモン</p>	<p>今朝横須賀港を流波の如く報知あり日本海軍の蒙り 喪に對し深甚しき情を表す 之と共に想を馳せしむ</p>	<p>千令七年 リオデジヤネイロに於て我邦船アキタバシノ燔沈 ノ天賜ナリ</p>	<p>致事</p>
-------------------------	-------------------------	--	--	-----------

(坂田納)

0122



0125

電報送達紙

●注意

受付月日の記入を省略したるものは受付の當日着局に於て受領したる。加藤藤沙平大臣閣下印刷局製造

●注意

万一他人に宛てたる電報の配達を受けたる場合は其由を付書し直に之を配達したる電報局所にも送らる。決して其受取本人へ直送し又は手渡しせざることを

局著	局發	受信人
受信者	カカタ	トモ
時分	月	氏所居人信發
0分	日	トモ
0分	報	印附口局著
指	事記	内
キコ		6.1.15
バノ		
貴國軍艦		
ワ		
王		

供覽



大正去年一月

月十五日

日午

時十五分

九時

局發

海軍

受信者ノ海軍省

電報譯

軍艦能波津災害痛惜ノ至リニ堪ヘズ
取敢ヘズ清見舞申上ル

石 千代ス

(花崎納)

0128

供覽

鈴

礼電

海軍

大正六年一月十五日 日午十時又十分 深羊局發

發信者山口十六師團長

受信者大匠

電報譯

軍艦波不慮、遭難ニ対シ謹ミテ痛惜
誠意ヲ表ス

(化略標)

0129

供覽



大正五年一月十五日 午後二時十五分 大阪宿島局發

海軍

發信者 大阪商船 堀 啓次郎

受信者 海軍大臣 副官

電報譯

軍艦 築波 不慮、御災害ニテ 御乗組 負中
多数 御 弱難 アラセラレシ 趣 和家、為 痛恨、
至リニ 堪エズ 御 憂慮 拝察 謹ニテ 御見舞
申上ケ

(了)

(札幌海軍)

(花崎 納)

0131

供

大正 十一年

一月十五日午前十一時五十分在保局發
一月十五日午後一時五十分在保局著

海軍

發信者 加藤市長

受信者 海軍大臣

電報譯

筑波、遭難、悲、乘負、死傷、哀悼、深、御同情申上

返電、

(花崎 穂)

0132

供覽

大正六年一月十五日午後一時五十分

大阪内本所局發

海軍

發信者 帝國海軍人會大阪支部長

受信者 大臣

山田喜八

電報譯

筑波ノ變災ニ付キ謹ニテ御見舞申ス

(礼電済)

(花崎納)

0133

供覽

大正六年一月

日午後

一時三十分九分

局著

海軍



受信者大臣

電報譯

謹ンデ 筑波艦ノ奇禍ヲ深ク痛ム

(礼電済)

(花時納)

0134

供覽



大正六年一月十五日 午前十一時四十分 海軍 發信者 柴山大将

受信者 大臣

電報譯

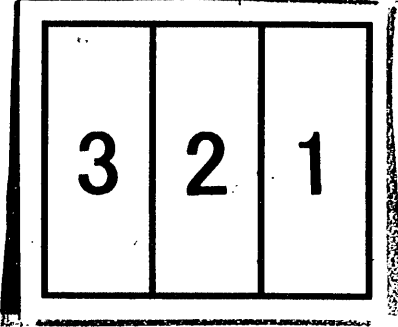
筑波ノ災難同情ニ堪ヘズ

礼電ニシテ

(花崎 納)

0136

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

供覽

清室存正

陳昨午日軍艦荒波

不意其笑臣國權慘廢

悲報接續猶恨痛惜

予之幸其古乘但將本累之

死傷之數悲痛哀悼

女場此方川之筆

省不中而中一日柔而心痛

0139 0138 0137

悲報接獲猶憐痛悼

予の幸多し其書兼但將奉慰之

死傷少跡由悲痛哀悼

如地止者小之書

省下市而中一日操心痛

程者忍痛可幸收書

一何跡可至人其味奉禱心

節生之序の意名死如長筆在

監

丁酉十月

株式会社印刷製程所

社長 鈴木 忠雄

程君忠齋河平波書

一何好日主人上林壽序禱心

萬生之序の意を延如長筆書

程君

丁酉十月

株式会社印刷製程所

社長 鈴木岩太郎

海軍省副官

海軍大臣 大角岑生殿

是

報 着 信 紙

電

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信 付午後 後前	付午後 後前	日	第 二 二	局	官報	カ イ シ シ
	時分	時分	月	號			
第三師團將校一同 一月十五日		軍艦筑波ノ不幸ヲ悲シ シ見舞申之上グ				定指	番着 紙信 數紙 名氏所居人信
						事記	
礼子電						印附日信着	カ イ シ シ

0140

紙 信 着 報 電

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信 付午後	受信 付午後	一月十五日	第 一 二 八 號	オサカ	官報	カサカ
	時分	時分	日	局			
池上四郎		筑波艦ノ奇禍御見舞		定指		番着 數紙 名氏所居人信發	
大坂市長		申上ク		事記		第一八號	
一月十五日		礼電				印附日信着	

0141

2

供覽

節

海軍

大正 三年 一月 十五日 午後 三時 十分 國本 局 發

發信者 第十四師團長

受信者 海軍大臣

電報譯

筑波艦、遭難、附、團下、同、代表、謹、テ、吊、意、ヲ、表、ス

禮電

(花崎納)

0142

供

電

大正 年 一月 十五日 日 午後 二時 二十分 海軍 局 發

發信者 大政府知事

受信者 海軍大臣

電報譯

軍艦筑波爆沈乗組員多数殉難、由哀
悼之堪へ此處ニ弔辭ヲ呈ス

禮電

海軍

5143

傳覽

大正 五年

一月十五日午後

一時四十分三ノ宮局發
二時二十分丸ノ内局着

海軍

受信者海軍大臣

電報譯

發信者山下亀三郎

竹瓊波艦、椿事ニ對ル御憂慮御見舞申上
奉ル

禮電 (スレ)

0144

供覽

海軍

電報

0145

細

伊香保

paget.

Thanks for your sincere
condolence and deepest
~~sympathy~~ on the loss of the
tanker Kato,
ministry marine

一月廿二日
午前十一時
分發
濟

野

伊香保

海軍

MEMO

海軍

一月十日

伊香保

大臣宛

ハロセツト

ハロフランド社共一同 竹北波心カ難ニ對シ深謝ス

同情ト哀悼ノ意ヲ表ス

返衛

0146

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS. (Delivery Form)

Station <u>YAHUNOUCHI</u> Office No. <u>57</u>	Address His excellency
Received Time <u>5.5 p</u> Date <u>15/11/17</u>	admiral
<u>Ly</u>	Kato minister of marine
Class <u>M</u> Original Office <u>Kako</u>	Remarks <u>Kagura Tokyo</u>
No. <u>1</u> Words <u>33</u>	
Date <u>15/11/17</u> Time <u>3.15 p</u>	
Messrs hadfields beg to offer their deepest deepest sympathy and condolence with the imperial Japanese navy on the terrible loss of the tsukuba paget ikaho	

海軍省

0147



T O K I O, le 15 Janvier 1917.

Monsieur le Ministre,

C'est avec profonde douleur que je viens connaître
la triste nouvelle du désastre à bord du croiseur Tsukuba.

En Vous offrant l'expression de mes plus sincères
condoléances, je Vous prie, Monsieur le Ministre, d'agréer l'assu-
rance de ma plus haute considération.



Son excellence
Monsieur l'Amiral T. K A T O,
Ministre de la Marine,
etc. etc. etc.

0148



Tokyo, January 15th. 1917.

Excellency.

I have heard with the greatest sorrow the news of the loss of the battleship "Tsukuba".

I beg Your Excellency to accept the expression of my deep regret and sympathy.

Believe me, Excellency,

yours very sincerely

f. Cuccchi Noasso

Italian Ambassador.

His Excellency
The V. Admiral Kato,
Minister of Marine.

0149



Le 16 Janvier 1917.



Excellence

Je remercie Votre Excellence du témoignage de sympathie qu'Elle veut bien m'adresser à l'occasion de la catastrophe du croiseur "TSUKUBA".

Veuillez agréer, Excellence, l'assurance de ma haute considération.

白耳三教
公便へ

Son Excellence
Le Comte G. della Fialle de Leveryhem,
Envoyé Extraordinaire et Ministre Plénipotentiaire

山田公使へ

Son Excellence
Monsieur G.O. Wallenberg,
Envoyé Extraordinaire et Ministre Plénipotentiaire
etc. etc. etc.

伊豆公使へ

Son Excellence
Le Chev. F. Cucchi Boasso
Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire
etc. etc. etc.

0150

供

電報

大正六年一月十五日 林公使

大臣宛



箱波、悲報、法律同情、堪之、不致
取、法律見舞、申上、ス

禮電
十
六
日

海軍

(根本納)

0151

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS

(Delivery form)

Station	Office No. 6	Address
Received Time 9.40/m	Date 15/7/17	Kaigundaijin Tokyo
By [Signature]		
Class 8	Original Office [Signature]	Remarks
No. 3797	Words 7	
Date 15/7 19 17	Time 14.10	
<p>Tsukabano hi koo gadoojoonitaegu toriaegu omi maimasiagu Hayashikooshi</p>		

電報 報着信紙

局 着		局		發		名氏所居人信	
取扱者	受信 午後 時分	付午後 時分	一月十五日	第 三 三 號	局	官報	カ ヤ イ ノ ト ウ
定指						番着信 紙數 名氏所居人信	
事記						第三八號	
大正五年一月十五日 安藤總督						印附日信着	
海軍大臣 軍艦筑波遭難件御同情堪へス						十六日	
謹此御見舞申ス							
不電付							

0153

終

海軍

大正 十六年 一月 十五日 日午後 三時四十八分長崎(2) 浦局 發
五時二十分丸ノ内 局 著

發信者 三菱

受信者 海軍省副官

電報譯

筑波昨日火藥庫爆發沈没ニ死傷者不數
由謹ニテ御見舞申上ク

(終)

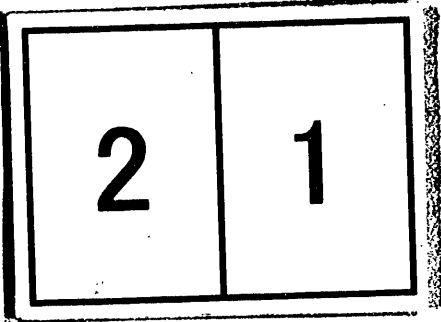
礼電付十六日

(花崎 綱)

海軍 飽

0154

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

出



及
2
3

大南

肅啓

軍艦筑波、爆
沈及多数将卒
、死者、對し深
厚、吊意ヲ表し
奉ル

大正六年一月十五日

0156 0155

軍艦筑波、爆
沈及多数将率
、死者ニ對シ深
厚、吊意ヲ表シ
奉ル

大正六年一月十五日

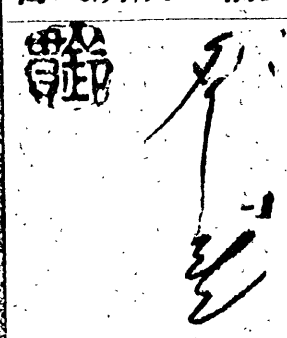
國民飛行會長 茂岡外史

海軍大臣 加藤友三郎閣下

侍史

電 報 着 信 紙

供覽

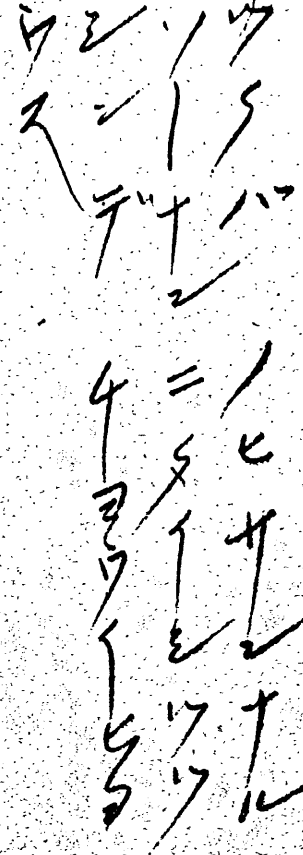
局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信 付午後 一時	受信 付午前 九時	第 〇 三 〇 號	局	官報		
		字	日	號	報		

指 定

事 記

筑波、悲惨ナル遭難ニ
 討シ謹ンテ吊意ヲ表ス

一月十六日
 上海 森山少将



番着 號信	數紙	名氏所居人信發
	號	
印附日信着		

0157